

第145回 埋蔵文化財セミナー

恭仁宮

と

長岡京

その実態に迫る！

令和3年3月6日（土）

14：00～16：30（受付13：30～）

会場：ウイングス京都 2F イベントホール
京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262番地

主催

京都府教育委員会

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

聴講無料 / 申込が必要です

※申込方法は裏面へ

申込方法

「セミナー参加希望」とお書きいただき、住所、氏名、電話番号を記入して往復はがきで下記「問い合わせ先」までお送りください。締切は2月26日（必着）です。

- ・定員 100 名
- ・応募希望者多数の場合、抽選になります

※会場内ではマスクの着用、手指消毒をお願いします
※状況により中止になる場合がありますことをご了承ください

2月26日
必着

問い合わせ先

公益財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター
調査課 企画調整係
〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内 40-3



電話 075-933-3877
FAX 075-922-1189

<http://www.kyotofu-maibun.or.jp/>

会場へのご案内

ウィングス京都 2階イベントホール
京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地

地下鉄烏丸御池駅（5番出口）または
地下鉄四条駅・阪急烏丸駅（20番出口）下車徒歩約5分

※一般来館者用の駐車場はありませんので、電車・バスをご利用ください。



第145回 埋蔵文化財セミナー

恭仁宮 と 長岡京

その実態に迫る！

京都府内には恭仁宮・長岡京・平安京の3つの古代都城が造営され、長く日本の政治や文化の中心的な役割を担ってきました。

今回のセミナーでは、恭仁宮跡と長岡京跡に焦点をあてます。

まず、恭仁宮跡については、通算100回目の節目となった発掘調査の成果を中心に朝堂院区画の実像について紹介します。次に、長岡京跡については、長岡宮の前面を流れる旧小畑川の改修の調査成果から、乙訓地域に都を遷した実態に迫ります。

報告1

「恭仁宮中心部の構造

—朝堂院区画を中心として—

京都府教育委員会 中居 和志 副主査

報告2

「長岡京遷都の実態

—周到に計画された遷都—

京都府埋蔵文化財調査研究センター 小池 寛 課長